



●自治総合審議会の答申を受けた主な変更箇所

◎我が国の社会経済情勢の記載及び今後の総合計画策定に当たっては、政権交代による国の政策の動向等を注視しつつ適切に反映されたい。
⇒「我が国の社会経済情勢」において、新政権の誕生により転換期を迎えていること、また、新たな環境の変化に適切かつ柔軟に対処していくことが必要である旨を明記。（*）

◎人口減少は市政に大きな影響を与えることから、厳しい状況であることを表現化されたい。
⇒「薩摩川内市の現状と課題（中間的総括）」において、本市の人口が、平成22年度には10万人を割り込み、平成37年には9万人を割り込むことも推計されることを明記。（*）

◎最高規範である自治基本条例の理念に従ってまちづくりを進めていくことをより明確に表現されたい。
⇒「総合計画の展開に向けた基本的考え方」において、本市の自治の基本を定める最高規範として自治基本条例を定め、同条例に基づき、まちづくりを推進する旨を明記。（※その他、関係箇所に明記）（*）

◎原子力発電所3号機及び産業廃棄物最終処分場の問題については、市政運営及び施策事業に影響があることから、今後の推移を見極め、適切に対処されたい。
⇒「薩摩川内市の現状と課題（中間的総括）」において、「原子力発電所3号機」及び「産業廃棄物管理型最終処分場」の現状について明記。（*）

◎ゴールド集落対策は、喫緊の課題であることから、重点的に取り組まれるとともに“活力と豊かさを感じるゴールド集落”の創出に向けた総合的な対策を早急に講じられたい。
⇒「総合計画の展開に向けた基本的考え方」において、地域住民がいきいきと活躍し、一人ひとりが光り輝く地域（ゴールド集落）づくりに取り組む旨を明記。（※その他、関係箇所に明記）（*）

◎地域特性を活かし、市民が住むことに誇りを持ち、若者や子育て世代をはじめ、各年代層にとっても魅力あるまちづくりを推進されたい。
⇒「総合計画の展開に向けた基本的考え方」において、「薩摩川内版地域力創造プログラム」を策定し、市民一人ひとりが住むことに誇りを持ち、“活力と豊かさを感じる地域づくり（地域力創造）”に取り組む旨を明記。（※その他、関係箇所に明記）

◎九州新幹線や南九州西回り自動車道の高速交通体系の整備が、定住促進や観光ルートの確立につながる施策を検討されたい。
⇒「総合計画の展開に向けた基本的考え方」において、都市ブランドの構築及びシティセールスについて明記。また、本市の有する魅力的な地域資源のネットワーク化による地域連携型観光圏の形成について明記（※その他、関係箇所に明記）（*）

◎自治会未加入者の割合が年々増加していることから、自治会の加入率を高めるための具体的取組について早急に検討されたい。
⇒「コミュニティを活かした地域力を育むまちづくり」において、自治会への加入率を高めるための取組を進める旨を明記。（*）